

報道発表資料翻訳

2018年4月10日

## テクトロニクス、NABの展示会で次世代ビデオ・ネットワークのための 品質保証／テスト・ソリューションを展示

クラウド、仮想ワークフローのための品質保証から SMPTE ST 2110、HDR/WCG の完全サポートまで、  
テクトロニクスは未来への移行に貢献

[2018年4月3日] 米国オレゴン州ビーバートン発

テクトロニクスは、4月9～12日、アメリカ、ラスベガスで開催される NAB Show 2018 の展示会(ブース番号: SU5006)において、コンテンツ品質、シグナル・インテグリティ、規格適合性を維持するソリューションを展示します。

映像制作・放送・配信業界では、ネットワーク、ワークフロー、配信メカニズムなどが次世代の環境に移行しています。テクトロニクスはハイブリッド IP/SDI メディア解析ソリューション、4K/UHD と HDR ビデオ・モニタリング・ソリューション、バーチャル／クラウド環境での品質保証に対応します。これら計測機器はテクトロニクスのブース以外に、展示会フロアの 12 近くのパートナー・ブースでも展示されています。

テクトロニクス、ビデオ・プロダクト・ライン、ジェネラル・マネージャのチャーリー・ダン(Charlie Dunn)は、次のように述べています。「テクトロニクスは放送業界におけるトレンドの最前線で制作、ポストプロダクション、コンテンツ配信の最新のモニタリング・ソリューションを提供しています。NAB 展示会では、その様子をご覧いただけます。当社は今年の展示会において、SMPTE ST 2110 規格への対応、HDR コンテンツの制作、ストリーミング・ライブ/VOD、OTT サービスを効率化するためのソリューション、などを展示します」

### PRISM による SMPTE ST 2110 の解析と信号生成

放送局が映像伝送を IP ネットワークに移行するのをサポートするため、PRISM メディア解析ソリューションは、プロフェッショナル・メディア・オーバーIP ネットワークのための SMPTE ST 2110 規格(-10、-20、-30、-40、-21)をサポートします。また、PRISM 用にローコストでフィールドアップグレード可能な信号生成機能を発表します。この機能により、PRISM は SMPTE ST 2110 IP システムで、SDI またはハイブリッド SDI/IP 環境に対応した 2110-20/30 および 12G SDI 信号が発生でき、ネットワーク解析や包括的な測定ができるトラブルシューティング・ソリューションとして利用できます。[\(プレスリリース\)](#)。

### クラウド／仮想ストリーミング環境における品質保証

ビデオ・コンテンツ事業者のクラウド・ストリーミング環境への移行では、コンテンツ品質と、問題発生箇所を視覚化することが大きな課題です。先日発表したように、Sentry リアルタイム・ビデオ・コンテンツ・モニタリング・ソリュー

ーションは、クラウド、仮想ストリーミング・ワークフローにおける、ライブおよびオンデマンド・ビデオの品質保証が可能になりました。最新の機能強化では、Sentry は複雑な環境の品質モニタリングを簡素化することでストリーミング・コンテンツ品質の真の視覚化を可能にし、グローバルなスケラビリティで OTT/マルチスクリーン・サービスの詳細な解析と包括的なレポートを可能にしています([プレス・リリース](#))。

### Aurora ファイルベース QC システムに追加された TekMOS 画像品質解析

テクトロニクスの展示ブースに来られるお客様は、最新の IMF 規格をサポートする Aurora ファイルベース QC システムに追加された、AWS ワークフロー対応、S3 ストレージ・サポート、4K-HDR コンテンツ検証機能をご覧ください。Aurora は、自動メディア QC テストをクラウドと仮想マシン実装の両方で利用できるため、既存のワークフローに統合でき、API を設計することで管理/制御システムに容易に組み込むことができます。

ビデオ/オーディオ解析、フォーマット適合性など、さまざまな基本コンテンツ品質テストに加え、Aurora は TekMOS を使用してシングル・スコア画像品質レーティングが行えます。TekMOS は、テクトロニクス独自の、リファレンス画像が不要な画像品質解析アルゴリズムであり、機械学習技術を使用した MOS (Mean Opinion Score、平均オピニオン評点) を提供します。このスコアは、視聴者によるコンテンツ品質の評点と高い相関性があります。TekMOS はグラフィック表示による、レポートで問題点を明示し、そのスコアの理由を示すことで事業者は補正措置ができます。

### パートナー企業、NAB でテクトロニクス製品を採用

テクトロニクスの製品は、テクトロニクス・ブースでの展示以外に、展示フロアのパートナー企業、お客様のブースに展示され、最新技術の展示をサポートするために使用されます。

- [AJA](#) 社(ブース番号: SL2505)では、Kona IP、IPR-10G-HDMI など、AJA 社の製品の PTP (Precision Time Protocol) ソースとして、テクトロニクスの SPG8000A 型マスタ・シンク/マスタ・クロック・リファレンス・ゼネレーターを採用しています。
- [Arista](#) 社(ブース番号: SL12105)は、2059-2 ネットワークの時間同期分配のために、テクトロニクスの PTP 付 SPG8000A 型を使用します。Arista 社とテクトロニクスは協業し、放送および高周波業界のための、優れたスケラビリティ、回復機能がある PTP ネットワークを提供しています。
- [Evertz](#) 社(ブース番号: N1503)は、大型の SDVN (Software Defined Video Networking) ソリューションの一部として PRISM を使用し、ST 2110 IP ネットワークのテスト/測定サポートを提供します。また、AWMA IS-04、IS-05 を使用し、Evertz 社の SDVN 編成システムである MAGNUM を使用して PRISM への ST2110 フローを登録、検出、制御します。
- [EVS](#) 社(ブース番号: SL3816)は、テクトロニクスと共に SMPTE 規格と AIMS サポートのプロトコルを使用した IP によるブース展示により、最新の製品とソリューションを展示します。テクトロニクスの SPG8000A 型が使用され、PTP と EVS SCORE MASTER を管理して配信される IP ネットワーク・コアを編成します。
- [Grass Valley](#) 社(ブース番号: SL106)は、テクトロニクスの WFM2300 型ポータブル波形モニタを使用して、展示ブース内のリファレンス信号、SDI 信号のトラブルシュート、検証を行います。また、PRISM を使用し、GV Node IP、および新製品の K-Frame X SDI/IP プロダクション・センタによる Grass Valley の統合 IP ワークフロー内の 10G IP 信号の解析と監視を行います。
- [Imagine Communications](#) 社(ブース番号: SL1516)は、テクトロニクスの SPG8000A 型を使用して再生、グラフィック、ルーティング、プロセス、制御、マルチビューア・ソリューションにおけるハイブリッド SDI/IP ワークフローのライブ・デモのための PTP タイミングをとります。また、PRISM を使用し、Imagine 社の展示ブース内のすべての SMPTE ST 2002、2110 の信号フローが業界仕様に適合していること展示します。
- [Nevion](#) 社(ブース番号: SU5510)は、展示ブースの SDN ネットワークの配信先として PRISM メディア解析プラットフォームを接続し、ソースを切り替えて IP ネットワークに接続された共有リソースのシミュレーションを

行います。Nevion の編成システムである VideoIPath は、ネットワークのフロー切替の初期化コントローラとして使用されます。

テクトロニクス の SPG8000A 型と PRISM は、ブース番号 : C12634 で [AIMS \(Alliance for IP Media Solutions\)](#) によって展示される IP Showcase Interop Demonstration でも使用され、PTP 信号の生成、NMOS による ST2110 測定もデモされます。

### テクトロニクスについて

米国オレゴン州ビーバートンに本社を置くテクトロニクスは、お客様の問題を解決し、詳細の理解を深め、新たな発見を可能にする、革新的で正確かつ操作性に優れたテスト／計測モニタリング・ソリューションを提供しています。テクトロニクスは70年にわたり電子計測の最前線に位置し続けています。

ウェブサイトはこちらから。 [jp.tek.com](http://jp.tek.com)

### テクトロニクスの最新情報はこちらから

Twitter ([@tektronix\\_jp](#))

Facebook (<http://www.facebook.com/tektronix.jp>)

YouTube (<http://www.youtube.com/user/TektronixJapan>)

### お客さまからのお問合せ先

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL 0120-441-046 FAX 0120-046-011

URL [jp.tek.com](http://jp.tek.com)

報道関係者からのお問い合わせ先  
テクトロニクス 広報室 瀬戸  
電話: 03(6714)3097 Fax:03(6714)3667  
Email: [seto.atsuko@tektronix.com](mailto:seto.atsuko@tektronix.com)

Tektronix、テクトロニクスは Tektronix, Inc. の登録商標です。本文に記載されているその他すべての商標名および製品名は、各社のサービスマーク、商標、登録商標です。